

ダイエー那覇店

1975年5月4日沖縄県那覇市にダイエー那覇店がオープンした！

ダイエー始まって以来オープン日（5月3日）に開店できなかった！

次の日の5月4日那覇市民全員が来店したかのような盛況ぶりだった！

「本土資本企業は出店反対」横断幕が店の周りに張り巡らされた！

「生鮮食品が初めてダイエーのお店に並んだ」フーズライン商品部が
飛行機便で生鮮食品を那覇店まで運んだ！「ヨーグルト」「納豆」
「ブリ」「馬刺し」が飛ぶように売れた！

次の日に那覇店にクレームの電話が殺到した！「くさってる」
「臭うし、糸まで引いている」

「賞味期限を守ります！」「2週間以内ならレシート持参で
返品交換または返金します！」

衣料品のワゴンの商品が飛ぶように売れた！

「安心な品質とリーズナブルな価格」は沖縄の消費者に支持された！
その後、糸満店・浦添・コザ・わこう・宮古・泡瀬・Kou'sカテナ・
ココマート6店舗が出店した。

ダイエーが沖縄経済と流通に革命を起こした！



琉球王国



ダイエー中国進出事業

中内CEOは中国500店舗構想として北京市に大型店舗を出店する計画を立ち上げた。

北京市政府との交渉の結果、計画を断念。天津市と大連市に小型多店舗計画にとりかかる！

店舗確保、物流センター稼働、商品供給、採用、教育、販促他初めての事ばかり！

「挨拶はしない方が良い」「まな板に何故長靴で上がってはいけないのか」の話になると頭を抱えてしまう！それでも根気よく説明していくと従業員は納得してくれていった！

当時の国営百貨店は「売上アップ」より「いかに早く帰るか」が従業員の課題だった！「セルフ販売」「返品交換」も馴染みがない！

外国のスーパーが初めて中国進出したと、同業者が山のように見学に来た！1号店のオープンには警察と人民解放軍までお客様の整理に来てくれた！今の中国では「挨拶」は当たり前！

「笑顔の従業員」を表彰するようになった！ダイエーが中国の流通に革命をもたらした！

